事例No.	3050
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	静岡県三島市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・ICT

事例種類	消防・防災

事例内容・タイトル

デジタル技術の活用により現場に出向く手間を省いている事例

出典

持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会（第1回）

デジタル技術の活用により現場に出向く手間を省いている事例

事業の概要

○　三島市では、大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる水門の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、水門の内水側に水位センサー及び監視カメラを設置している。

○　水位センサーと監視カメラの情報は、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、浸水被害の可能性がある地域住民も出水状況をリアルタイムで確認することができる。





令和3年度事業費　3,355千円

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）　取組の経緯・きっかけを教えてください。



（三島市）　頻発する突発的な大雨や洪水等の出水状況を随時把握するという課題に対し、水位センサー及び監視カメラを設置する構想に行きつきました。



事業の近況を教えてください。



令和3年度は、水位センサー3基及び監視カメラ2基を設置しました。これによって、累計で水位センサーは5基、監視カメラは3基の設置となり、内水氾濫が起きやすい地区の出水状況を安全に、かつリアルタイムで把握することができるようになりました。



住民の反応はいかがですか？



「川に近づかずとも正確に水位がわかる水位計が設置され、安心が増しました。」といった声が寄せられました。

事業効果

○　大雨や洪水時に河川の見廻り等情報収集に要する時間が短縮でき、意思決定が迅速にできるようになった。
○　水位計のデータがリアルタイムに公開されるため、地域住民が河川に近づかずに出水状況を確認できるようになった。

コスト

※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト　※税抜	8,208千円	ランニングコスト（1年あたり）　※税抜	420千円
（内訳）　・水位センサー・カメラ設置費	8,208千円	（内訳）　・保守費	420千円